

タイの日本語学習者が求める ネイティブ／ノンネイティブ教員の 資質・能力と連携・協働のあり方

中 川 良 雄

1. はじめに

昨今の外国語教育では、教師主導型の文法能力重視、「読み書き」偏重の教育法から、コミュニケーション重視の教授法へとパラダイムがシフトし、ネイティブ教員を積極的に活用し、学習者のコミュニケーション能力を向上させるための工夫がなされつつある。それと同時に、教員に求められる資質や能力も変化してきている。

論者は、これまでに「求められる日本語教員の資質・能力」や「優れた外国語授業」について様々に考察してきた。

ここで次のようなことが疑問として浮かび上がる。

これまでの一連の知見は、はたして日本語教育に特化したものか。日本語教育、英語教育、中国語教育やフランス語教育といった、それぞれの領域の殻に閉じこもるのではなく、「外国語教育」という共通した概念のもとで議論することはできないか。またそれぞれの領域で蓄積されている知見を交換し、共通財産として「外国語教育」の進展に活かしていくことはできないか。外国語教員として求められる資質や能力は、それぞれの言語の個別性と外国語教育という共通性（一般性）の上で議論することができるのではないか。

本研究は、「優れた外国語授業」創出のためのネイティブ／ノンネイティブ教員に求められる資質・能力を問い、両者の連携・協働の可能性を模索することを主目的とする。本研究では、教員の役割分担やネイティブ／ノンネイティ

ブ教員の資質や能力について学習者が何を求めるかを問うアンケートを基礎資料とし、個別性と共通性（一般性）を探ることにより、「優れた外国語授業」の概念化が図れるものとする。「期待される教員像」が明らかになれば、教員養成も容易になり、教員の資質・能力の改善・向上にも役立つ。

本稿では、タイの日本語教育を例に議論を進める。

国際交流基金（2016）の調べによると、タイは、学習者総数世界第6位の日本語教育国であり、「微笑みの国」として、タイへ赴任したいという教員（志望者）も多い。ネイティブ／ノンネイティブ教員に必要な連携・協働や役割分担が示されれば、タイの日本語教育の進展に益するであろう。

2. 当該分野での先行研究

この方面での研究は、田中（2013）「日本語教育における『ネイティブ』／『ノンネイティブ』概念—言語学研究および言語教育における関連文献のレビューから—」、平畑（2008）「アジアにおける母語話者日本語教師の新たな役割—母語話者性と日本人性の視点から—」、大藪（2007）「英語で教える英語の授業」：非母語話者教員をとりまく状況分析と理論的枠組み」など少なからず存在するが、いずれも日本語教育や英語教育、また、中国やベトナムといった個々の集団内の議論にすぎず、外国語教育を一般化・概念化した研究は管見の限りない。外国語教育を一括りとした、外国語教員に関する議論やその養成に関する議論もなされていない。

3. タイの日本語学習者・日本語教員

3. 1 日本語学習者

国際交流基金（2017 b）の調べによると、タイの日本語学習者は、初等・中等・高等・その他合計で、173,817人で、世界第6位、教師数は、1,387人で、世界第7位と、有数の日本語教育国であると言える。しかし学習者のおよそ66.4%（115,355人）が中等教育であり、高等教育で初級をリピートする学習者も少なくない。また教師1人当たりの学習者数は平均で100人であり、クラス内の

能力格差は、広がる一方である（八田、2008）。

タイ人大学生の性格については佐久間（1999）に詳しい。

- (1) 先生の言うことは絶対で、自分で論理を組み立てていくことができない。
- (2) 自分で考えない。反応がない。かなえたり、議論するための訓練がなされていらない。受動的である。
- (3) 友達がいないと寂しくなってクラスを替わったり来なくなったりで、主体性が感じられない。
- (4) 少し難しくすると文句が出る。
- (5) プレッシャーをかけられることを喜ぶ学生もいるが、多くはそれが嫌でやめてしまうような気がする。

つまり「受動的である」ことや「友人とともに楽しく学習する」というタイ人の学習スタイルが浮かび上がる。

3. 2 日本語教員

タイの高等教育機関（大学）で日本語を教える要件として、国際交流基金（2016 a）は、

大学の日本語学科の卒業生の中から高等教育機関の日本語教師になる者もいる。多くは、日本などの国外または国内の大学院を修了した者である。タイの大学のポストを得るには、修士号以上の高い学位が必要である。

としている。

また日本語のネイティブ教員（日本人教員）の雇用状況とその役割について、国際交流基金（2016 a）は、

高等教育では、「各教育機関が直接独自に雇用している。ほとんどの大学では、日本語教育または関連分野での学士・修士号取得を条件としており、

さらに教授経験や日本語教育能力検定試験合格が問われることもある。会話（発音指導を含む）や作文を担当することが多いが、主専攻課程がある機関では中級指導に加え、課程のカリキュラムへの助言や日本の大学との交流事業への協力が期待されることがある。と述べている。

すなわち高等教育機関で求められるネイティブ教員の役割として、「専門性」や「ネイティブ性」が問われることになる。

4. 優れた外国語授業

Wragg, (1970) は、「優れた外国語授業」として次のようなものを挙げている。

- * 教師も学習者も外国語使用が圧倒的に多い。
- * 初級段階でも母語使用は非常に少ない。
- * 教師の話す量が少ない。
- * 学習者の参加を促し、誉めたり励ましたりすることが多い。
- * 教室内の雰囲気が暖かく、受容的である。
- * 教室内に笑いが多い。
- * 学習者は授業参加への意欲を示し、自発的発言が多い。
- * 教師が微笑したり、冗談を言ったりすることが多い。
- * 誤りの訂正をやさしく行う。

しかしこの Wragg (1970) の授業モデルは、どの程度まで外国語授業を一般化したものとなるのか。学習者のニーズや教育観を形成する教室文化に呼応したものとなるのかが疑問として浮かび上がってくる。

5. 「いい授業」に関する調査

そうした疑問を解くため、中川 (2010、2011 a、b、2012、他) では、中国・台湾・香港・韓国・タイ・オーストラリア等、日本語教員及び学習者を対象に、「いい授業」に関するアンケート調査を実施した。

本稿では、タイの学習者が考える「いい授業」について振り返る（中川 2012）。

(1) 学習者への叱責

タイの学習者には、「叱られたり注意されたりする」のを好むか、それとも「褒められたり励まされたりする」のを好むかについて、両者に好みの差は小さく、「誉められたり、励まされたりする」ことをよいとは考えていない（むしろその逆を望んでいる）。

(2) 教室活動の形態

タイの学習者は、「教師がさまざまな教授法や練習法を用いる」ことを望んでいる。

また教室活動の形態については、教室活動に関する好みは持ち合わせていないようである。このことは、裏を返せば、現行の教室活動が特徴的な形態を備えていないことを表している感がある。

(3) 学習者の母語の使用

教師が日本語を用いる授業を望みつつも、その度合いは、さほど強くない。上の対象者のレベルから判断して、学習者のレベルは初級・初中級・中級が大半であり、教師が日本語のみを用いる授業には、抵抗を感じるのであろう。また日本語のみを用いて授業を進める教師の能力にも限界があるのかもしれない。

しかしながら学習者の日本語使用については、授業中の日本語使用にあまり積極的でない。授業スタイルとして、教師が説明する形式をとっており、学習者が日本語で話す機会は奪われてしまっているのかもしれない。

(4) 4技能の割合

「読む・書く」活動より「話す・聞く」活動を好んでいる。やはり漢字に関する理解度がアンケート結果として現れたものと思われる。

(5) 誤りの訂正

誤りの訂正については、タイの学習者は、「やさしく行われる」ことを望んでいる。しかしその度合いは、「厳しく訂正される」より「やさしく訂正される」ことを、どちらかと言えば望んでいる程度にすぎない。

(6) 教科書の取り扱い

「教科書中心」の授業というよりは「教師の手作り教材の利用される」授業を望んでいる。

(7) 学習者の自主的発言

自主的発言機会の奪われることを好まず、積極的に発言したいと望んでいる。

(8) 学習者の発言機会

「教師が話す」時間より「学習者が話す」時間の多いことを好んでいる。

上記(7)と併せて考えると、「学習者中心」の授業が好まれ、教師コントロールの低い授業をよしと考えていることが分かる。

(9) 机間巡視（教師の行動）

この項目は、学習者の発言機会や学習活動の種類とも関連が深い。つまり教師が説明をしたり講義をしたりする時間が多くなると、黒板の前に張り付きになり、教室内を移動する時間も少なくなろう。

タイの学習者は、教師が机間巡視することを望ましいと感じている。

(10) 教室内の雰囲気

教室内の雰囲気は、緊張しているよりは暖かく受容的であることを理想としている。

また「学習者が助け合い、励まし合う」和やかな雰囲気を理想としていることは注目に値する。

さらに「教室内に笑いが多い」ことや「教師が冗談を言ったり微笑したりする」ことも教室内の雰囲気を和やかにするであろう。

(11) 教師の態度

タイの学習者は、教師が「毅然たる態度で学習者と接する」ことを求めている。タイでは、教室においても、急室外においても、教師は「教師たる態度でいる」ことが求められている（牧 2010）。

(12) 日本の文化や習慣

日本の文化や習慣が紹介される」授業がよいと考えている。

(13) 教師による標準語の使用

「教師が標準語を用いる」ことを求めている。その要求度はかなり高い。

本調査から明らかになったポイントとして、タイの学習者に顕著に現れた「いい授業」観は、

- * 教師の威厳が必要である。
- * 教室活動として、話したり聞いたりする活動を好む。
- * 学習者の自主的発言機会の多い授業を好む。
- * リラックスした雰囲気の中で、学習者の自発的発言が促される。
- * 日本語だけで授業が進行していくことは好まない。
- * 日本文化や習慣について紹介される。

などに集約されるであろう。

6. アンケート調査

6. 1 アンケート項目の策定

縫部・渡部他（2006）を参考に、本論の趣旨に合致するよう、アンケート項目（ノンネイティブ教員には40項目、ネイティブ教員には37項目）を策定した。

それぞれのアンケート37項目を4件尺度法（4：強く求める、3：求める、2：あまり求めない、1：全く求めない）で問うた。

6. 2 調査期間

2018年2月～3月。

6. 3 調査対象者

タイの大学日本語学習者（381名）の内訳は、次の通りである。

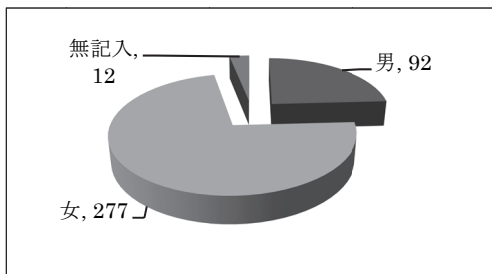


図1 男/女の内訳

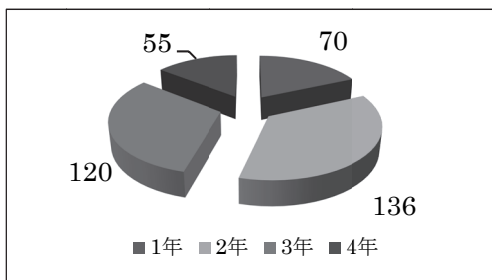


図2 学年の内訳

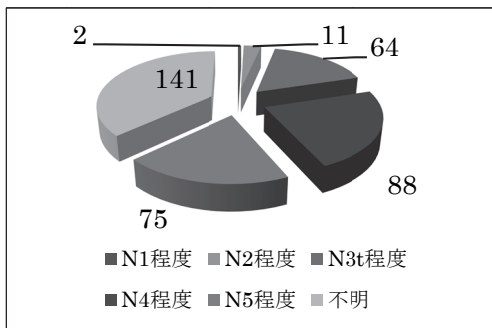


図3 日本語能力の内訳 (自己申告)

7. 調査結果

アンケート調査から、タイの日本語学習者が求める（求めない）ネイティブ／ノンネイティブ教員の資質・能力について、平均値上位項目を並べてみる。

表1 タイの日本語学習者がノンネイティブ／ネイティブ教員に求める資質・能力（上位）

ノンネイティブ教員	ネイティブ教員
すべての学習者に公平である	すべての学習者に公平である
教室を和やかでくつろいだ雰囲気にする	正しい発音やアクセントで流暢に話せる
教室外でも話しやすく親しみやすさを感じる	教室を和やかでくつろいだ雰囲気にする
習得が困難なことでと容易なことをよく知っている	教室外でも話しやすく親しみやすさを感じる
学習者の文法上の間違いを適切に訂正する	学習者に日本語で話すことを促す
授業を楽しくする	外国語としての日本語教授法に精通している
宿題を適度に出し、きちんとチェックする	授業を楽しくする
日本語教育に関する資格を持っている	学習者の発音上の間違いを適切に直せる
学習者に日本語で話すことを促す	日本人の考え方や思考方法を理解している

表2 タイの日本語学習者がノンネイティブ／ネイティブ教員に求める資質・能力（下位）

ノンネイティブ教員	ネイティブ教員
日本語だけで授業をする	教科書に沿って文法を重点的に教える
教師として威厳のある態度で学習者に接する	修士またはそれ以上の学位を持っている
教科書に沿って文法を重点的に教える	ペアワークやグループワークを積極的に取り入れる
ペアワークやグループワークを積極的に取り入れる	教師として威厳のある態度で学習者に接する
修士またはそれ以上の学位を持っている	読むこと・書くことを中心に教える
読むこと・書くことを中心に教える	コンピュータ教材を用いて授業を進める
日本語の教授経験が長い	日本語と学習者の母語を比較しながら教える
コンピュータ教材を用いて授業を進める	日本語だけで授業をする
文法や語彙を日本語で説明する	日本語の教授経験が長い
日本への留学経験がある	教室内において学習者に規律を守らせる

ネイティブ教員／ノンネイティブ教員に共通して求められる資質・能力として、

- ① 教室を和やかで楽しい雰囲気にする。また親しみやすく話しやすい（教室内外）。
- ② 学習者の日本語使用を促す。
- ③ 日本語教育に関する資格を持っていたり、外国語としての日本語教授法に精通したりしている。

ことである。③については、中川・岡本・倉田（2018 a）、中川・王（2018 b）、中川・橋本・舟杉（2018 c）とは異なった結果を示した。タイの日本語教育が、日本語教育に関する専門的知識を有さない教員によって担われていることに対する反論だろうか。

またノンネイティブ教員に求められる資質・能力として、

- ④ 自らが学習者であったという経験知を活かし、学習者の発音や文法上の誤りを予測して訂正できる。

強みがある。一方でネイティブ教員には、

- ⑤ 正しい発音やアクセントで話し、学習者の発音上の誤りを訂正する。
- ⑥ 日本人の考え方や思考方法を理解し、カルチャー・モデルとしての役割を担う。

が考えられる。

次にネイティブ教員・ノンネイティブ教員に求めない資質・能力は、

- ⑦ 威厳のある態度で学習者に接する。
- であり、上に述べたごとく、親しみやすく、温かい態度で接することを望む。
- ⑧ 修士号またはそれ以上の学位や日本への留学経験（ノンネイティブ教員）、教授経験などは求めている。それよりも重要なのは、教授技能のうまさということになろう。
 - ⑨ 「読むこと・書くこと」を中心とした授業は求めず、「話すこと・聞くこと」を中心とした授業を求めるが、そのくせ、ペアワーク・グループワークなどの作業は、ペアとの相性や性格・能力等の不一致、恥ずかしい等の理由

で好まれない。

- ⑩ 日本語だけで授業が展開することは好まれない。先の「いい授業間」で見たとおりである。ネイティブ教員には、日本語と学習者の母語（タイ語）とを対照させながら教える技能は求められておらず、むしろそれはノンネイティブ教員の得意分野である。
- ⑪ 教科書に沿った授業は好まれないが、ネイティブ／ノンネイティブ教員には、ただ文法説明をするのみならず、上記のごとく、楽しい授業をする技能が求められることになる。

8. おわりに

タイの日本語教育で求められるネイティブ／ノンネイティブ教員の資質・能力を大きく特徴づけているのは、「暖かく受容的な雰囲気・態度」であると考えられる。教員には威厳ある態度で学習者に接するのではなく、教室内外において親しみやすく話しやすい態度で接することが求められる。

日本語だけで授業が展開することは好まず、かといって母語による文法説明に終始する授業は良しとしないが、ネイティブ／ノンネイティブ教員の連携・協働により補助教材なり、練習教材なりを作成・開発し、学習者が楽しく学べる環境整備が望まれる。

またノンネイティブ教員には、これまでの知見同様、自らが学習者だった経験知を活かして、学習者に発音文法上の困難点を予測し、適宜訂正できる、ロールモデルとしての役割が期待される。学習者と価値観や文化背景を同じくするところの強みがある。

さらにネイティブ教員には、日本人性を発動し、カルチャー・モデルとして、日本人の考え方や起草方法を理解しているばかりか、ネイティブ性を発揮し、正しい発音やアクセント、文法で「ランゲージ・モデル」としての役割が期待される。

アンケートに見る限り、タイの日本語学習者には、ネイティブ／ノンネイティブ教員に役割の線引きはしていないように見受けられるが、両者の連携・協働

により、学習者のニーズが満たされ、教育が進展していくことは疑いがない。

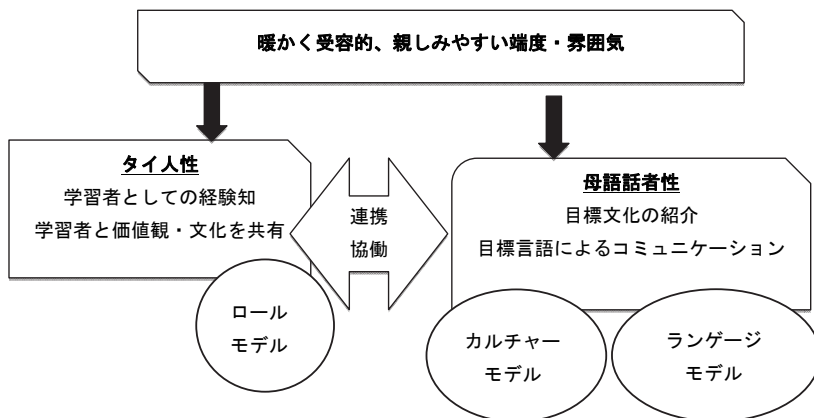


図4 タイの日本語教育におけるネイティブ／ノンネイティブ教員連携・協働のパラダイム

参考文献

- Wragg, E. C. (1970) "Interaction Analysis in the Foreign Language Classroom", *The Modern*
- 板井美佐 (1999) 「日本語学習についての中国人学習者の BELIEFS について－香港城市大学のアンケート調査から分かったこと－」『筑波大学留学生センター日本語教育論集』14号 筑波大学留学生センター pp.163-179
- 岡崎眸・畑和佳子 (2000) 「言語学習についての確信－韓国日本語学習者の場合－」『御茶の水女子大学人文科学紀要』53号 お茶の水女子大学 pp.185-201
- 佐久間勝彦 (1999) 「海外で教える日本人日本語教師をめぐる現状と課題－タイでの聞き取り調査を中心に－」『世界の日本語教育〈日本語教育事情報告編〉』3 国際交流基金 pp.79-107
- 笹島茂・彩文ボーグ (2009) 「言語教師認知の研究」開拓社
- 中川良雄 (2010) 「中国の日本語学習者が考える『いい授業』」『研究論叢』第75号 京都外国語大学 pp.143-157
- (2011 a) 「中国・台湾・香港の日本語学習者が考える『いい授業』」『研究論叢』第76号 京都外国語大学 pp.271-290.
- (2011 b) 「教室文化の多様化に対応した『いい授業』－中国と韓国の学習者が考える『いい授業』」『無差』第18号 京都外国語大学日本語学科 pp.3-10
- (2011 c) 「教室文化から見た『いい授業』観－オーストラリアの日本語学習者が考える『いい授業』－」『研究論叢』第77号 京都外国語大学 pp.149-159

- (2012) 「タイの日本語学習者が考える『いい授業』－中国の日本語学習者との対比から－」『研究論叢』第79号 京都外国語大学 pp.239-249
- ・岡本俊裕・倉田誠 (2018 a) 「ネイティブ／ノンネイティブ教員に求められる資質・能力－中国語学科と英米語学科の学生が求める資質・能力－」『研究論叢』第90号 京都外国語大学 pp.141-153
- ・王尤 (2018 b) 「中国人日本語学習者が求める母語話者／非母語話者教師の資質・能力」『日本語文化研究』第五輯 (下) 延辺大学出版社 pp.59-66
- ・橋本政義・舟杉真一 (2018 c) 「ネイティブ／ノンネイティブ教員の連携・協働と役割分担－フランス語学科とドイツ語学科の学生が考える教員の資質・能力－」『研究論叢』第91号 京都外国語大学 pp.49-60
- 縫部議憲・渡邊倫子 (2006) 「学習者が求める日本語教師の行動特性の構成概念」『日本語教員養成における実践能力の育成と教育実習の理念に関する調査研究』(平成16年度～平成17年度科学研究費補助金基盤研究 (B) 研究成果報告書 研究代表者：中川よ雄) pp.94-105
- 八田直美 (2008) 「国際交流基金バンコク日本文化センターによるタイ人日本語教師のための『木曜日研修』－ノンネイティブ教師研修における学びあいと研修専科の教育現場での実践－」『日本語教育紀要』4 国際交流基金 pp.143-153
- 牧貴愛 (2010) 「海外で働く日本語母語話者日本語教員の異文化適応力養成教材の開発－タイを中心に－」『無差』第17号 京都外国語大学日本語学科 pp.21-34
- 国際交流基金 (201 b) <http://working-asia.com/japanese/> (2018年8月17日閲覧)
- (2017) : <https://www.jpff.go.jp/j/project/japanese/survey/area/country/2017/thailand.html> (2018年8月18日閲覧)

【付表 タイの日本語学習者が求めるネイティブ／ノンネイティブ教員の資質・能力】

No.	項 目	NNT	NT
1	絵教材や視聴覚教材など、さまざまな教材を多く用いる	3.53	3.59
2	外国語としての日本語教授法に精通している	3.11	3.76
3	学習者からの質問に即座に答えられる	3.38	3.38
4	学習者に日本語で話すことを促す	3.55	3.76
5	学習者の発音上の間違いを適切に直せる	3.49	3.73

6	学習者の文法上の間違いを適切に訂正する	3.69	3.40
7	教科書に沿って文法を重点的に教える	2.69	2.64
8	教室外でも話しやすく親しみやすさを感じる	3.71	3.76
9	教室外や課外でも学習者と交わることが多い	3.12	3.11
10	教室内において学習者に規律を守らせる	3.00	3.04
11	教室を和やかでくつろいだ雰囲気にする	3.72	3.76
12	教師として威厳のある態度で学習者に接する	2.63	2.86
13	コミュニケーション重視の練習をたくさん取り入れる	3.03	3.18
14	コンピュータ教材を用いて授業を進める	2.83	2.93
15	試験（JLPT など）についての知識が豊富である	3.45	3.37
16	修士またはそれ以上の学位を持っている	2.70	2.72
17	習得が困難なことと容易なことをよく知っている	3.71	3.71
18	授業を楽しくする	3.67	3.75
19	宿題を適度に出し、きちんとチェックする	3.58	3.61
20	進学や就職などの知識が豊富である	3.47	3.43
21	すべての学習者に公平である	3.82	3.82
22	正しい発音やアクセントで流暢に話せる	3.40	3.77
23	日本語以外のことにも相談にのってくれる	3.29	3.13
24	日本語教育に関する資格を持っている	3.57	3.62
25	日本語だけで授業をする	2.50	3.00
26	日本語と学習者の母語を比較しながら教える	3.19	2.94
27	日本語の教授経験が長い	2.82	3.00
28	日本人の考え方や思考方法を理解している	3.43	3.72
29	日本の歌やドラマ・アニメなどを紹介してくれる	3.26	3.38
30	日本の歴史や文化・習慣などについて深い知識がある	3.20	3.57
31	日本文化を授業の中で体験させてくれる	3.36	3.63
32	話すこと・聞くことを中心に教える	3.32	3.45
33	文法や語彙を学習者の母語で説明する	3.18	3.49
34	文法や語彙を日本語で説明する	2.93	3.27
35	ペアワークやグループワークを積極的に取り入れる	2.70	2.81
36	翻訳や通訳の練習を取り入れる	3.22	3.19
37	読むこと・書くことを中心に教える	2.77	2.87
38	学習者だった時の経験を活かして教える	3.26	
39	日本への留学経験がある	2.94	
40	日本語能力試験（JLPT）でN1に合格している	3.37	

※ NNT＝ノンネイティブ教員、NT＝ネイティブ教員